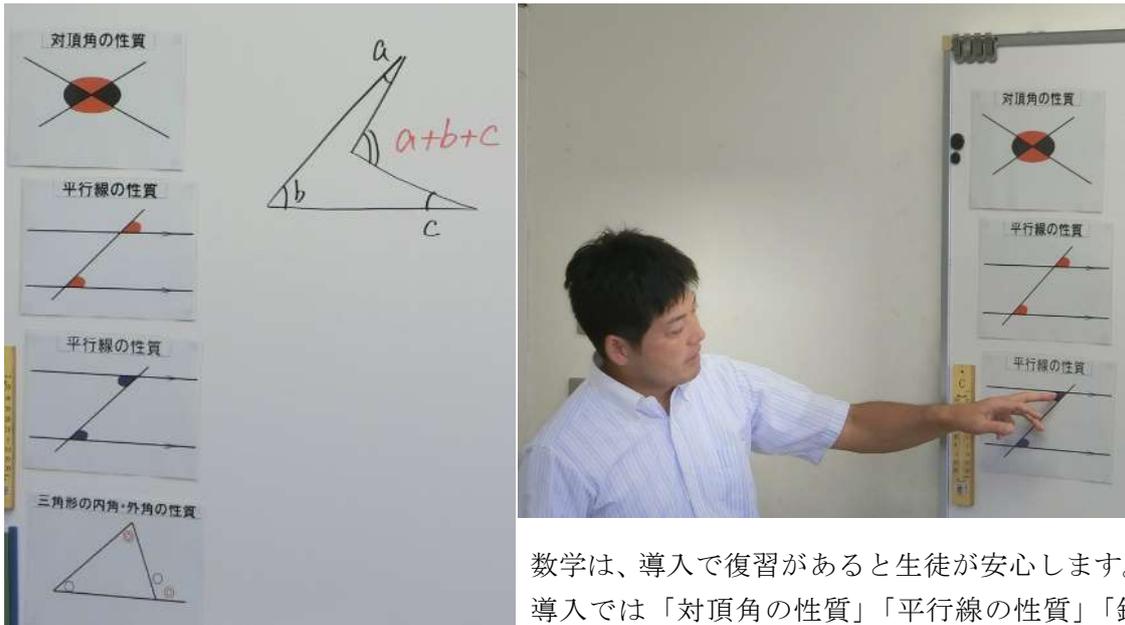


数学 2年 三宅先生

数学「☆形の角の謎を見つけよう」

1 授業のポイント1

既習内容を確認する



数学は、導入で復習があると生徒が安心します。導入では「対頂角の性質」「平行線の性質」「錯覚の性質」「三角形の外角と内角の性質」「やじりの形の性質」の5つについて振り返りました。

2 授業のポイント2

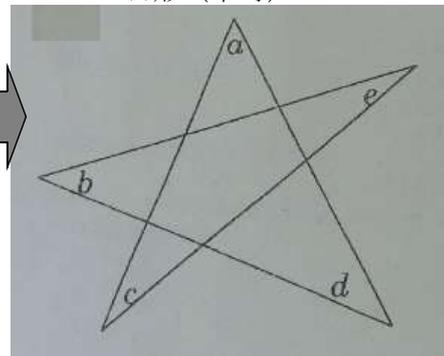
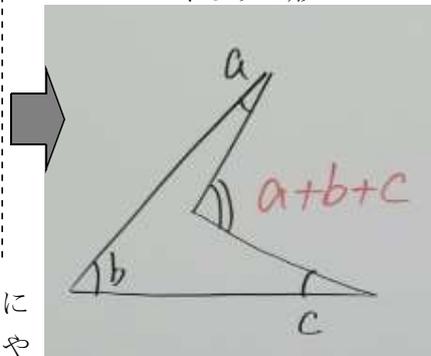
単元の流れの工夫（発展的な課題を取り入れる）

○教科書教材

- ・対頂角
- ・平行線
- ・錯覚
- ・三角形の内角と外角

○教科書がなく、問題集等から取り入れた課題

- ・やじりの形
- ・☆形（本時）



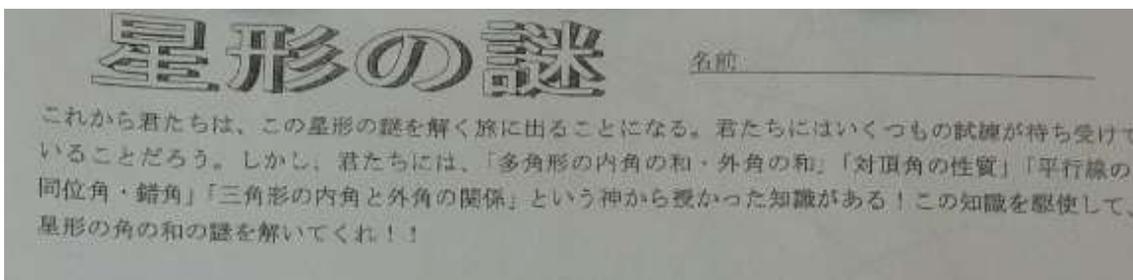
生徒の実態に合わせて、「や

じりの形」や「☆形」の課題を取り入れ、数学の力が伸びるようにしています。

3 授業のポイント3

学習課題に取り組む雰囲気を作る工夫

(1) 課題提示の工夫



○学習プリントの文章

これから君たちは、この星形の謎を解く旅に出ることになる。君たちにはいくつもの試練が待ち受けていることだろう。しかし、君たちには、「多角形の内角の和・外角の和」「対頂角の性質」「平行線の同位角・錯角」「三角形の内角と外角の関係」という中から授かった知識がある！この知識を駆使して、星形の角の和の謎を解いてくれ！！

「星形の角の和を求めましょう」と言えば済むところを、上記のように課題を提示して気持ちを盛り立てます。

(2) バックミュージックを取り入れる



生徒がグループで問題を解いている間、バックミュージックを流して取り組みやすい雰囲気を作りました。

4 授業のポイント4

グループの中で見つけた方法を理解し合う → 先生の前で説明する

先生の前で説明する生徒は、先生が指名して決まります。見つけた方法は、グループ全員で共有し合ってから先生の前に行きます。

- ・生徒同士話し合っている様子



○グループ全員で先生の前にやってきます。



○指名された生徒が見つけた方法について説明します。

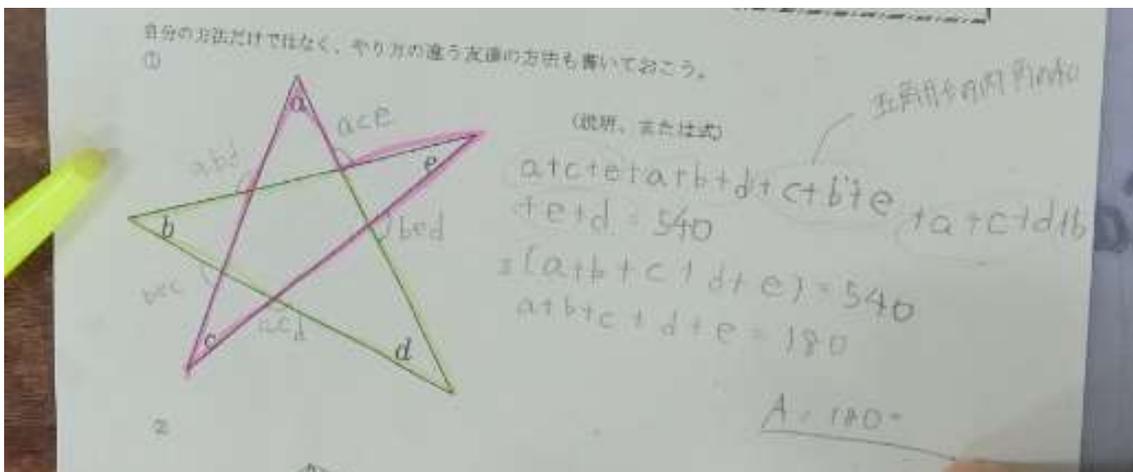
本時のメインの活動は、「証明方法を説明すること」です。まだ、書くことによる証明の前段階です。心の中に止めておくのではなく、声に出すことで理解を深めます。



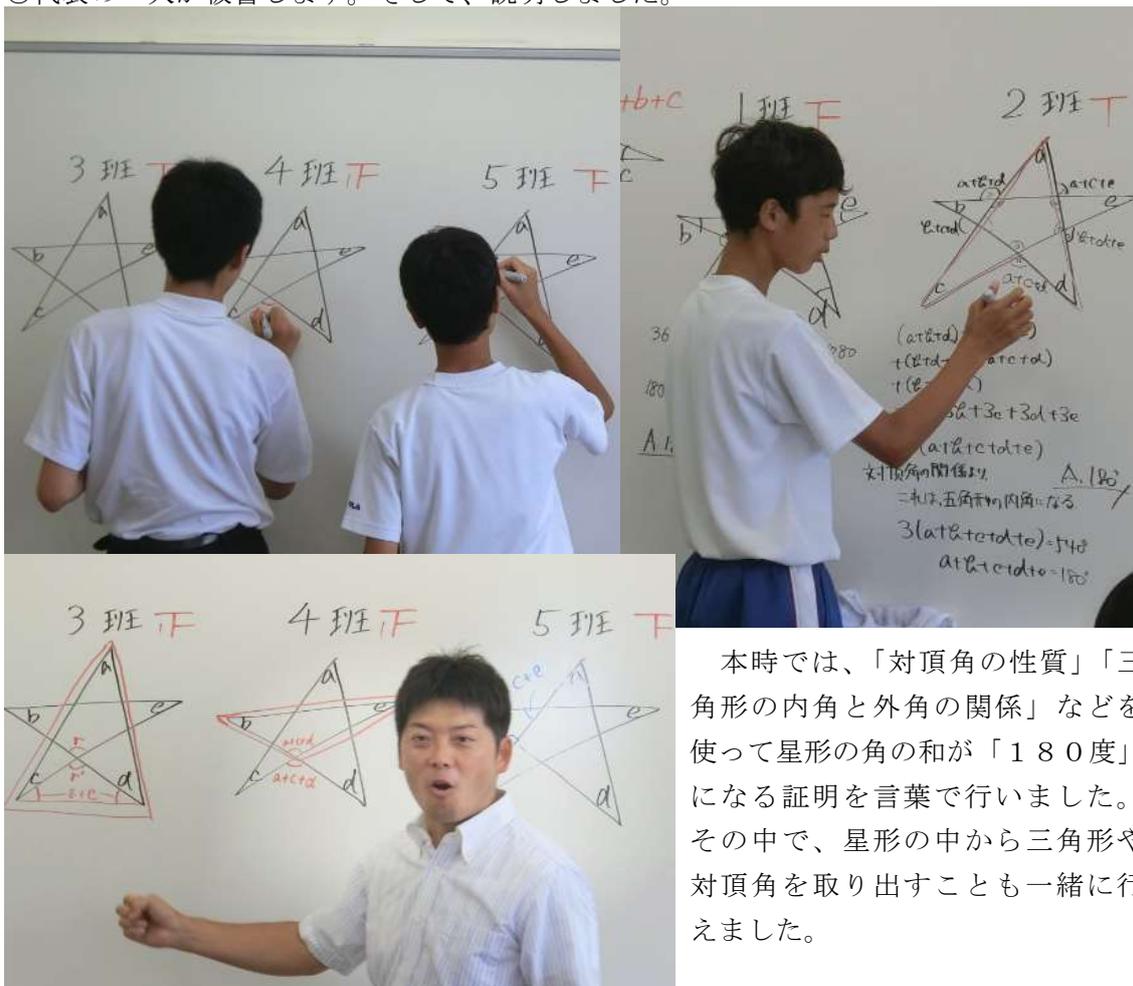
5 授業のポイント5

グループ間の方法を共有し合う

○生徒が学習プリントにかいた方法例



○代表の一人が板書します。そして、説明しました。



本時では、「対頂角の性質」「三角形の内角と外角の関係」などを使って星形の角の和が「180度」になる証明を言葉で行いました。その中で、星形の中から三角形や対頂角を取り出すことも一緒に行えました。